事業所理念	心身の発達に遅れや心配がある又は障がいのあるこども(以下「こども」という)たちが意欲的に遊ぶ力を育み、家族とともにのびのびと育ち合い、地域で安心して暮らせるように支援する。		
支援方針	日常生活における基本的な動作の習得や集団生活への適応などの支援をこどもの発達状況および置かれている環境に応じて支援する。保健、福祉、教育などの各分野及び医療機関とも連携し、こどもとその家族が抱える悩みや困りごとに寄り添った適切な発達相談支援や、家族支援を行う。		
営業時間	9 : 00 ~ 17 : 00	送迎実施の有無	一部実施 (あらゆる送迎が困難な方で、かつセンターが対応可能な場合のみ)
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な通所や療育活動の中で、発達や身体の特徴、健康状況などの観察、聞き取りを丁寧に行い、生活リズムの改善や習慣化を支援したり、家庭でも活かしてもらえるような情報提供や相談を行います。 ○療育の中で持ち物の準備や片づけ、排泄や衣服の着替えなど日常的な動作について、こども個々の障がいや発達特性に応じた支援を行います。特に、こどもが取り組みやすいよう環境調整したり、伝え方を工夫する、実物や写真を提示する等を行います。また必要に応じて専門職種が動作の確認を行い、どのようにすれば行いやすくなるか、習得できるかなどを保護者、関係者と検討します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○身体を大きく動かすような運動遊び(トランポリンやバランスボール、ブランコ、乗り物、サーキット等)、五感を刺激する感覚、感触遊び(紙・粘土・水・砂・絵具・楽器等)などを楽しむことで、物や環境に合わせた身体や道具の使い方、力加減やバランスの取り方を体験できるように支援します。また、こどもの感覚や身体の特徴に合わせた環境調整、姿勢保持や移動などが行いやすくなるような補助的な用具を活用できるように支援します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○職員や他児が遊びの見本を見せたり、遊びに誘いかけよう環境を作ることで、こどもが遊びに興味を持つ、見通しを持つ、楽しさを知れるように支援します。また職員が声かけをしたり、活動に参加できるように配慮することで、他児と場面や楽しさを共有する、達成感を得る、簡単なルールが理解できるように支援します。 ○必要に応じて専門職員がこどもの様子をもとに、認知の特性を評価・理解し、それらを踏まえ、かかわり方や環境調整等、どのような支援を行うかを検討します。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもの好きな遊びや活動の中で、言葉や身振り、絵カード、機器などを用いながら気持ちや要求を伝えられるように支援します。 ○こどもが反応した物や事に言葉を添えて伝え、療育の中で言葉と動作や物事が結びつくようにし、場面に合わせた言葉の理解や表出ができるように支援します。 ○職員が相手への伝え方の見本を見せることで、こどもがどのような伝え方が良いかを知り、自発的に伝えていけるように支援します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい遊びなどを通して保護者や大人との関係性を作りながら、他者と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように支援します。 ○個別や集団活動の遊びの中で、できた時に拍手やハイタッチをすることを通して相手を意識したり、身近な他者との関係を築くこと、‘やった！’、‘できた’などの思いを共有できるように支援します。 ○集団療育の中で、周囲にこどもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、ルールを守ったり役割分担をして遊ぶ共同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援します。 	
保育所等訪問支援	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもが生活している園等の生活の場に訪問し、集団生活への適応を目的に、こどもの特性(運動・感覚・認知の特性、コミュニケーションの取り方、他児とのかかわり方等)に応じた個別対応方法や環境調整、支援者の関わり方について園などと共有・検討・提案します。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ○成長・発達・身体状況などについての心配事や家族の子育てに関する困りごと、成長の共感などに対し、面談や療育後の説明、個別の相談対応を行います。 ○保護者同士のつながりや情報交換、交流を深められるよう保護者交流会や学びの機会の提供を兼ねた学習会(ペアトレ)等を実施します。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園や学校などへの観察、またセンターへの見学等を通して支援にかかる情報共有や共通理解を図ることで、障がい特性を踏まえた一貫した支援に努めます。 ○こどもに関わる地域の関係機関(保健・医療・福祉・教育)と連携します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○就園・就学等のライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援を行います。 ○就園・就学の際にはこれまでの支援の経過や通所児童の発達状況等を必要に応じて共有、引継ぎし、継続した支援ができるように心がけます。
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会・学会への参加や資格取得の奨励 ○施設内での月1回以上の研修機会の創出、事例検討会の実施 ○こども・福祉事業所関係機関との会議や研修への参加 ○関係医療機関との連携や同行受診、リハビリの見学 	主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ○季節ごとの制作活動(七夕、クリスマス、ひな祭り) ○水遊び ○夏祭り ○感覚運動遊び(年2回) ○避難訓練 ○所外遊び(中部台公園、センター周辺)